

# 熊本矯正歯科研究会

# NEWS LETTER

2015年 第1号(春季)

事務局:おにき矯正歯科クリニック内  
〒861-4172 熊本市御幸笛田 1-9-38  
TEL 096-334-8211 FAX 096-334-8210  
E-Mail yasu1015@hyper.ocn.ne.jp

## ご挨拶

熊本矯正歯科研究会 会長 伊東隆三



平成 27 年度、春季第 1 号（通巻 9 号）の NEWS LETTER を会員の皆様にお届けできますことは、河野賢二広報担当常任理事はじめ副会長、常任役員のご尽力によるものと感謝申し上げます。

熊本矯正歯科研究会会長に就任し 3 期目、6 年目を迎えます。本年度をもちまして会長職を勇退させていただく予定ですが、次年度からは新会長のもと本研究会がさらに発展し活躍されんことを祈念しております。

さて、平成 28 年度には第 12 回九州矯正歯科学会学術大会が開催されることになっております。現在のところ、平成 29 年 2 月 11（土）、12（日）2 日間に渡り開催の予定です。

今後、実行委員会を立ち上げ準備を進めていかねばなりません。九州矯正歯科学会熊本支部会員と熊本矯正歯科研究会会員が協力し合って、また熊本県・市歯科医師会会員の先生方の絶大なるご支援いただきながら熊本大会を成功させねばなりません。

さて、熊本矯正歯科研究会春季講演会は 5 月 23 日（土）に開催されますが、今回は京都府宇治市で矯正専門で開業されております、いなみ矯正歯科院長、居波徹先生にお願いしております。居波先生は臨床的には日本でも高名な専門医であり、また長く日本矯正歯科学会の要職を務められ専門医制度を確立された先生でもあります。先生には矯正臨床や、専門医制度などについてこれまでの経緯や今後の方向性についてご講演いただければと考えております。矯正に係る先生方にとって有意義な講演になるものと期待しております。

さて、10 月 24 日（土）の秋季熊本矯正歯科研究会臨時総会で会長選挙が行われます。熊本矯正歯科研究会の会長選出規定に則り選挙が行われます。今後、この春の総会で選挙管理委員会が設置され、会長候補者の募集が行われ秋の臨時総会で会員による投票、選出の予定です。立派な新会長が選出されますよう会員の皆様のご協力をお願いする次第です。

これまで言ってきましたように、熊本矯正歯科研究会では、行政や市民に対して、噛むことの重要性や現代病であるディスクレパンシーの予防のためにはもっと噛むことが必要であり、また食習慣の改善が重要であること等について啓発していくことが重要な課題であると考えております。虫歯の予防も大事ですが、顎の発育をどうするか、もっと考える必要があると思っております。これからも矯正専門医が一般歯科医と協力して不正咬合の予防や矯正治療の必要性について保護者や行政の方々に説明・理解を得ることが将来の歯科医療への貢献につながるものと考えております。

これからも熊本矯正歯科研究会の発展に皆様のご協力をよろしくお願い申し上げます。

## 平成 26 年度後期の主な活動

### ○ 常任役員会・理事会から

本会は、常任役員会を定期的に開催して研究会が会員にとって有意義なものとなるように講演会の準備や会の運営など伊東会長を中心に協議しています。

今年度後期の主な検討事項の一つは、平成 28 年度九州矯正歯科学会熊本大会についてです。平成 29 年 2 月に開催することが決定しており、常任役員会で開催日、場所など詳細を検討しております。また、準備委員会も今年度初めには発足予定です。会員の皆様の協力をよろしくお願いいたします。

その他には、伊東会長の任期終了に伴う会長選挙の準備をしております。選挙は今年度の秋の総会で予定しております。

平成 26 年度後期は、平成 26 年 10 月 25 日に平成 26 年度第 2 回理事会・評議員会（出席者 8 名、委任状 10 名、アークホテル熊本にて）、平成 27 年 1 月 19 日に平成 26 年度第 3 回理事会（出席者 8 名、委任状 4 名、伊東歯科口腔病院にて）を開催しました。理事の方々にはご多忙中にも関わらずご出席いただきありがとうございました。

### （平成 26 年度第 2・3 回理事会主旨）

- ・ 現在の会員数は 90 名です。村上慶先生と寺崎恵太郎先生が入会されました。
- ・ 本会のホームページについて：今年で契約期間終了のため契約延長を行う。今後、ドメイン料（年間 1,000 円程度）とレンタルサーバー料（年間 18,000 円程度）が必要である。
- ・ 平成 26 年度秋季講演会と忘年会について：10 月 25 日にアークホテル熊本にて行いました。
- ・ 平成 27 年度春の講演会について：平成 27 年 5 月 23 日に予定している春の総会・講演会の演者は居波徹先生です。
- ・ 平成 27 年度秋の講演会について：今年度の秋の総会は 10 月 24 日（土）を予定しています。
- ・ 平成 28 年度からの会長選挙について：春の総会で選挙管理委員会を設立し、秋の臨時総会で決定する。
- ・ 太田文隆先生が九州矯正歯科学会の評議員になりました。
- ・ 「2015 歯の祭典」について：6 月 7 日に熊本市歯科医師会主催の「歯の祭典」が予定されています。例年通り本会が矯正相談コーナーを担当します。

### （平成 28 年度九州矯正歯科学会熊本大会について）

熊本矯正歯科研究会は、九州矯正歯科学会より支部代行を依頼されており、学会運営を行わなければなりません。例年通りだと、400 名程度の参加者が見込まれます。九州矯正歯科学会に所属していない先生方の協力も必要になります。

現時点で会場の仮押さえや概要の検討は、常任役員会でしていますが、早急に準備委員会や実行委員会を設立する必要があります

皆様のご協力をお願いいたします。

- ・ 日程について：平成 29 年 2 月 11、12 日の 2 日間を予定している。
- ・ 会場について：講演会は県歯科医師会館、市民会館、国際交流会館などを検討している。懇親会は KKR か日航を検討している。
- ・ 大会長について：本来、本会の次期会長が兼任することになる。ただし、実行委員会の会長だけでも先に決める必要があるため、常任役員会で検討する。

### ○ 平成 26 年度 秋の講演会と忘年会

平成 26 年 10 月 25 日（土）に秋の講演会と忘年会が開催されました。講演会は、会員発表として新入会員の上村裕希先生（熊本駅前矯正歯科クリニック院長）と、特別講演として伊東隆利先生（伊東歯科口腔病院理事長）にいただきました。講演会の参加者

は、70名を超え、盛況の上終了いたしました。また、忘年会は会員の先生のみでなく、歯科関連業者の方、スタッフの皆様方など40名以上の方にご参加いただきとても盛り上がりました。みなさま、ありがとうございました。

#### ※講演会抄録

##### ○会員発表：「私の矯正臨床」熊本駅前矯正歯科クリニック 院長 上村裕希先生

私は、2014年3月に鹿児島大学大学院医歯学総合研究科歯科矯正学分野を退局し、同年5月に熊本駅前幹線口前にて、『熊本駅前矯正歯科クリニック』を開院させていただきました。今回、このような貴重な場を与えていただき、大変感謝申し上げます。

松本歯科大学卒業後すぐに鹿児島大学大学院歯科矯正学講座へ入局し11年間研鑽を積みました。従いまして、私の矯正臨床は、鹿児島大学での矯正臨床ということになります。

今回、鹿児島大学矯正歯科教授が伊藤学而名誉教授から宮脇正一教授へと変わる中で、診療システムがどのように変わっていったのかご報告すると共に、私の学位研究等について発表させていただく予定です。

臨床では、鹿児島大学で多く診ている唇顎口蓋裂症患者における治療の流れや、一般的なマルチブラケット症例、また、矯正用アンカースクリューを併用して治療した重篤な顎変形症症例、下顎切歯根尖部に水平埋伏した犬歯に開創・牽引を行った症例、水平埋伏した犬歯が顎骨内を移動した症例、DOG適用症例に対して手術を行わないで治療を行った症例などをご紹介しますと思います。



##### ○特別講演：当院における顎変形症手術に対する臨床的検討のご報告 一口腔外科と矯正歯科との連携の歩み

伊東歯科口腔病院 理事長 伊東隆利先生

・はじめに：1975年下顎骨矢状分割法によるSet Back第一例目を経験して以来、矯正歯科専門医の先生方、一般臨床医の先生方からの紹介を得ながら、2014年9月末までに1555症例、1682件の顎変形症手術を経験させていただき、感謝申し上げます。

一つの施設で一定の方針で40年にわたって、矯正専門医と連携しながら手術に従事できたことは術者として本当に嬉しい限りです。また、この手術は一人では出来ることなくチームとして取り組む必要がありますが、この長い間手術を支えてくれたスタッフの皆さんに御礼申し上げたいと思います。



・手術の話：本日は当院における顎変形症治療の流れを解説し、特に入院中の患者様の生活についてはクリティカルパスを用意しましたのでお持ち帰りいただき、説明用として利用いただけたら幸いです。

各種手術方法を説明し、紹介先の先生方にご協力いただいた症例を供覧し、多くのバリエーションを持つ顎変形症を疑似体験していただければと思います。連携医療における共同診療についても解説いたします。

平均入院日数はリハビリテーションをしっかりとやりますので、SSRO単独で20日間、Le-fort I型を含む2 jaw Surgeryで28日間ですが、成績はほぼ良好と聞いています。手術時間はSSRO単独で2時間33分、2 jawで4時間48分、出血量はSSRO単独で98ml、2 jawで230ml程度でした。麻痺については78%に一時的に出ていますが、医療事故裁判となったり、神経縫合術等を要するような症例は幸い経験していません。

・学会、論文での発表の話：これまで多くの症例を経験させていただき、伊東隆三当院院長の協力で、学会等で口演発表や、論文発表する機会にも恵まれてきました。

この機会に紹介させていただき、今後の臨床の方向性について考えてみます。

## お知らせ

---

- ・ 平成 27 年 5 月 23 日（土）にアークホテル熊本で平成 27 年度熊本矯正研究会講演会を行います。懇親会も予定しておりますので、スタッフの方もお誘い合わせの上ぜひご参加ください。演者は、京都府宇治市でいなみ矯正歯科を開業されている居波徹先生です。
- ・ 「2015 歯の祭典」について、矯正相談コーナーに出無希望の方は事務局までご連絡ください。
- ・ 平成 27 年度秋の講演会について、演者の希望や推薦があれば事務局までご連絡ください。
- ・ 会費未納の会員の先生方は早急に納入ください

---

（広報担当 河野賢二）